カガワアート　ガイドブック

KagawArt

自然や歴史、人の暮らしの中に溶け込んだアートや建築。
作品だけではなく、空間そのものが魅力にあふれる香川県で
極上の時間をお楽しみください。

草間彌生「赤かぼちゃ」2006年 直島・宮浦港緑地　写真：青地大輔

©YAYOI KUSAMA　画像転載不可

かがやくけん、かがわけん。
香川県

01 「島」を舞台にしたアートプロジェクト

ベネッセアートサイト直島

https://benesse-artsite.jp

「ベネッセアートサイト直島」は、直島、豊島、犬島を舞台に、株式会社ベネッセホールディングスと公益財団法人 福武財団が展開しているアート活動の総称です。
全てのアート施設でオンラインチケットによる予約制を導入しています。詳細はwebサイトよりご確認ください。

直島

©Tadao Ando Architect & Associates

2025年5月31日開館 直島新美術館

ベネッセアートサイト直島における安藤忠雄設計の10番目のアート施設。地下2階、地上1階の3層からなる美術館では、日本も含めたアジア地域のアーティストの代表作やコミッション・ワークを中心に展示・収集します。開館を記念する2025年の展示では、日本、中国、韓国、インドネシア、タイ、フィリピンなどの著名アーティストから新進気鋭まで12名/組による作品群が展開されます。

香川県香川郡直島町3299-73
TEL:087-892-3754(福武財団)
開館時間●10:00~16:30(最終入館16:00)
休 館 日●月曜日 ※ただし、祝日の場合開館、翌日休館。メンテナンス休館あり。
鑑 賞 料●1,500円~1,700円(15歳以下無料)

ベネッセハウス ミュージアム

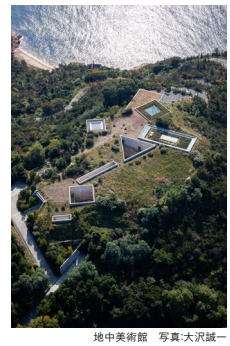
コンセプトは「自然・建築・アートの共生」。美術館とホテルの機能を兼ね備えた安藤忠雄設計の施設です。客室は全室海に面し、各室はもとより周囲の海岸線や林の中にも作品が点在しています。

ベネッセハウス 写真:山本糾

香川県香川郡直島町琴弾地
TEL:087-892-3223
開館時間●8:00~21:00(最終入館20:00)、年中無休 メンテナンス休館あり。
鑑 賞 料●1,300円~1,500円
アクセス●「宮浦港」バス停から、直島町営バス つつじ荘方面に乗車。「つつじ荘」バス停で場内シャトルバスに乗り換え「ベネッセハウス ミュージアム下」バス停で下車(約20分)

地中美術館

クロード・モネ、ジェームズ・タレル、ウォルター・デ・マリアの作品が安藤忠雄設計の建物に恒久設置された「地中美術館」。館内は地下でありながら自然光が降り注ぎ、作品や空間の表情が刻々と変わります。アーティストと建築家の対話により生まれた美術館では、建物はもちろん環境と融合した唯一無二の美に出合えます。



地中美術館 写真:大沢誠一

香川県香川郡直島町3449-1 TEL:087-892-3755
開館時間●10:00~17:00(最終入館16:00)8・9月は18:00まで。
休 館 日●月曜日 ※ただし、祝日の場合開館、翌日休館。メンテナンス休館あり。
鑑 賞 料●2,500円~3,000円(15歳以下無料)予約推奨、12,000円(年間パスポート)
アクセス●「宮浦港」バス停から、直島町営バス つつじ荘方面に乗車。「つつじ荘」バス停で場内シャトルバスに乗り換え「地中美術館」バス停で下車(約30分)

Pick up Spot

地中カフェ TEL:087-892-3755
瀬戸内の風景が一望できるカフェ。解放された空間で改めて自然を感じることができるよう、屋外スペースも設けています。
※地中美術館に入館した方のみ利用できます。

ANDO MUSEUM

安藤忠雄設計の打ち放しコンクリート空間が、築約100年の木造民家に新しい命を吹き込みました。展示品だけではなく建物と空間そのものを鑑賞する美術館です。

ANDO MUSEUM 写真:山本糾

香川県香川郡直島町736-2 TEL:087-892-3754(福武財団)
開館時間●10:00~13:00/14:00~16:30(最終入館16:00)
休 館 日●月曜日 ※ただし、祝日の場合開館、翌日休館。メンテナンス休館あり。
鑑 賞 料●600円~700円
アクセス●「宮浦港」バス停から、直島町営バス つつじ荘方面に乗車。「農協前」バス停で下車(約10分)、徒歩約3分

建築家 data 安藤 忠雄 Tadao Ando 01 08

1969年安藤忠雄建築研究所設立。建築家、東京大学名誉教授。プリツカー賞、UIA(国際建築家連合)ゴールドメダル、文化勲章をはじめ国内外で受賞多数。
代表作は「ベネッセハウス」(直島)、「地中美術館」(直島)、「淡路夢舞台」(淡路島)、「フォートワース現代美術館」(アメリカ)など。

家プロジェクト

古い家屋などを改修し、アーティストが家の空間そのものを作品化しました。生活空間の中で繰り広げられる来島者と住民、作品との出合いは、かけがえのない体験となっています。

家プロジェクト「角屋」宮島達男 "Sea of Time '98" 写真:鈴木研一

家プロジェクト「石橋」 写真:鈴木研一

香川県香川郡直島町本村地区 TEL:087-892-3223(ベネッセハウス)
開館時間●10:00~16:30(「南寺」最終入館16:05)※詳細はwebサイトをご覧ください。
休 館 日●月曜日 ※ただし、祝日の場合開館、翌日休館。
鑑 賞 料●1,200円~1,400円(「きんざ」「南寺」を除く5軒共通、15歳以下無料)※「きんざ」「南寺」は予約推奨。鑑賞料600円~700円
アクセス●「宮浦港」バス停から、直島町営バス つつじ荘方面に乗車。「農協前」バス停で下車(約10分)、本村ラウンジ&アーカイブ(チケット販売所)まで徒歩すぐ

李禹煥美術館

国際的評価の高い李禹煥(リ・ウファン)の絵画・彫刻が展示されています。海と山に囲まれた半地下構造の空間では、安藤忠雄の建築と李禹煥の作品が呼応し、我々の原点を見つめ思索する時が静かに流れていきます。

李禹煥美術館 写真:山本糾

香川県香川郡直島町字倉浦1390 TEL:087-892-3754(福武財団)
開館時間●10:00~17:00(最終入館16:30)
休 館 日●月曜日 ※ただし、祝日の場合開館、翌日休館。メンテナンス休館あり。
鑑 賞 料●1,200円~1,400円(15歳以下無料)、5,600円(年間パスポート)
アクセス●「宮浦港」バス停から、直島町営バス つつじ荘方面に乗車。「つつじ荘」バス停で場内シャトルバスに乗り換え「李禹煥美術館 ヴァレーギャラリー前」バス停で下車(約25分)

豊島

豊島美術館　写真:森川昇

豊島美術館

アーティスト・内藤礼と建築家・西沢立衛による美術館。休耕田となっていた棚田を地元住民とともに再生させ、その一角に水滴のような形をした建物が据えられています。柱が1本もないコンクリート・シェル構造で、天井にある2箇所の開口部から、周囲の風、音、光を内部に直接取り込み、自然と建物が呼応する有機的な空間を実現させました。一日を通して「泉」が誕生する風景は、季節の移り変わりや時間の流れとともに、無限の表情を伝えます。

香川県小豆郡土庄町豊島唐櫃607　TEL:0879-68-3555
開館時間●10:00～17:00（最終入館16:30）3月1日～9月30日
10:00～16:00（最終入館15:30）10月1日～2月末日
※瀬戸内国際芸術祭会期中は開館時間が異なります。
休 館 日●火曜日（3月1日～11月30日）、火曜日から木曜日（12月1日～2月末日）　※ただし、祝日の場合開館、翌日休館。
※ただし、月曜日が祝日の場合は、火曜日開館、翌水曜日休館。
鑑 賞 料●1,800円～2,000円（15歳以下無料）予約推奨、6,000円（年間パスポート）
アクセス●「家浦港」バス停から、土庄町営シャトルバス唐櫃港方面に乗車。「豊島美術館前」バス停で下車（約15分）

Pick up Spot

豊島美術館カフェ

TEL:0879-68-3555（豊島美術館）

豊島美術館に隣接するカフェでは、自然光がふりそそぐ中、豊島の食材を使ったメニューが楽しめます。
※豊島美術館に入館した方のみ利用できます。

心臓音のアーカイブ

生きた証である心臓音を恒久的に保存し、それらを聴くことができる小さな美術館。「レコーディングルーム」で自らの心臓音を採録することもできます。

クリスチャン・ボルタンスキー「心臓音のアーカイブ」　写真:久家靖秀

香川県小豆郡土庄町豊島唐櫃2801-1　TEL:0879-68-3555（豊島美術館）
開館時間●10:00～17:00（最終入館16:30）3月1日～9月30日
10:00～16:00（最終入館15:30）10月1日～2月末日
※瀬戸内国際芸術祭会期中は開館時間が異なります。
休 館 日●火曜日（3月1日～11月30日）、火曜日から木曜日（12月1日～2月末日）
※ただし、祝日の場合開館、翌日休館。※ただし、月曜日が祝日の場合は、火曜日開館、翌水曜日休館。
鑑 賞 料●600円～700円（15歳以下無料）、心臓音の登録料1,570円（CDブックレット付）
アクセス●唐櫃港から徒歩約15分

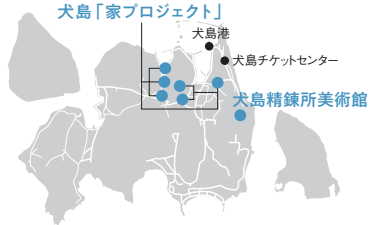
豊島横尾館

島の民家を改修してつくられた、アーティスト・横尾忠則の美術館。「母屋」「倉」「納屋」の3つの空間に展示された平面作品11点のほか、インスタレーション作品が敷地全体に広がります。

豊島横尾館　写真:山本糾

香川県小豆郡土庄町豊島家浦2359　TEL:0879-68-3555（豊島美術館）
開館時間●10:00～17:00（最終入館16:30）3月1日～9月30日
10:00～16:00（最終入館15:30）10月1日～2月末日
※瀬戸内国際芸術祭会期中は開館時間が異なります。
休 館 日●火曜日（3月1日～11月30日）、火曜日から木曜日（12月1日～2月末日）
※ただし、祝日の場合開館、翌日休館。※ただし、月曜日が祝日の場合は、火曜日開館、翌水曜日休館。
鑑 賞 料●600円～700円（15歳以下無料）
アクセス●家浦港から徒歩約5分

犬島



犬島「家プロジェクト」

アーティスティックディレクター・長谷川祐子と建築家・妹島和世が島の集落の中に展開するアートプロジェクト。5つのギャラリーと「石職人の家跡」に、さまざまなアーティストの作品を公開しています。

犬島「家プロジェクト」F邸　写真:Takashi Homma

岡山県岡山市東区犬島327-4　TEL:086-947-1112
開館時間●10:00～16:30
※瀬戸内国際芸術祭会期中は開館時間が異なります。
休 館 日●火曜日から木曜日（3月1日～11月30日）、
※瀬戸内国際芸術祭会期中は休館日が異なります。
全日（12月1日～2月末日）
鑑 賞 料●2,100円～2,300円（15歳以下無料）
※犬島「犬島精錬所美術館」と共通
アクセス●犬島港から犬島チケットセンターまで徒歩すぐ

犬島「家プロジェクト」A邸
ベアトリス・ミリャーゼス「Yellow Flower Dream」2018
写真:井上嘉和

犬島精錬所美術館

犬島に残る銅製錬所の遺構を保存・再生した美術館。自然エネルギーを利用した環境に負荷を与えない三分一博志の建築など、「遺産、建築、アート、環境」による循環型社会を意識したプロジェクトです。

岡山県岡山市東区犬島327-4　TEL:086-947-1112
開館時間●9:00～16:30（最終入館16:00）
休 館 日●火曜日から木曜日（3月1日～11月30日）、
※瀬戸内国際芸術祭会期中は休館日が異なります。
全日（12月1日～2月末日）
鑑 賞 料●2,100円～2,300円（15歳以下無料）
※犬島「家プロジェクト」と共通
アクセス●犬島港から犬島チケットセンターまで徒歩すぐ

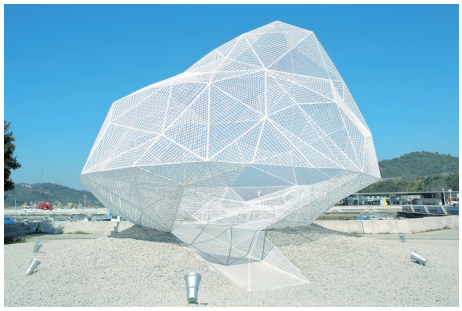
犬島精錬所美術館　写真:阿野太一

02 海・島・人
アートがつなぐコラボレーション

ART SETOUCHI

「ART SETOUCHI」は、3年ごとに開催される「瀬戸内国際芸術祭」とその間に取り組まれているアートを通して、地域の活力を取り戻し、再生を目指す活動の総称です。
現代アートが伝える瀬戸内海と島々の魅力は、訪れた人々に、過去、現在、未来と多くのことを気付かせてくれます。

https://setouchi-artfest.jp


直島　直島パヴィリオン　所有者:直島町　設計:藤本壮介建築設計事務所　写真:福田ジン

豊島　安部良「島キッチン」　写真:Nakamura Osamu

女木島　木村崇人「カモメの駐車場」　写真:Nakamura Osamu

男木島　ジャウメ・プレンサ「男木島の魂」　写真:Nakamura Osamu

小豆島　チェ・ジョンファ(崔正化)「太陽の贈り物」　写真:Ichikawa Yasushi

小豆島　清水久和「オリーブのリーゼント」　写真:Takahashi Kimito

瀬戸大橋エリア　藤本修三「八人九脚」　写真:Takahashi Kimito

本島　石井章「Vertrek「出航」」　写真:Takahashi Kimito

高見島　中島伽耶子「時のふる家」　写真:Miyawaki Shintaro

粟島　日比野克彦「瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト」　写真:Takahashi Kimito

伊吹島　栗林隆「伊吹の樹」　写真:Kioku Keizo

高松港エリア　大巻伸嗣「Liminal Air -core-」

03 空と海を借景した
絵画のような美術館

香川県立東山魁夷せとうち美術館

東山画伯の版画作品を寄贈いただいたことを機に誕生した小さな県立美術館。設計は画伯が信頼を寄せた建築家・谷口吉生。洗練された空間で、珠玉の作品を鑑賞できます。
展示室の階段を下りれば瀬戸大橋と青い海が広がり、画伯の祖父が生まれ育ったゆかりの地・櫃石島が望めます。

https://www.pref.kagawa.lg.jp/higashiyama/
香川県坂出市沙弥島字南通224-13 TEL:0877-44-1333
開館時間●9:00～17:00（最終入館16:30）
休 館 日●月曜日（祝日の場合は開館、翌日火曜日が休館）、
12月27日～1月1日、展示替えのための臨時休館あり
観 覧 料●webでご確認ください。
アクセス●JR坂出駅、JR宇多津駅から車で、それぞれ約20分。
坂出北ICから車で約10分。坂出ICから車で約20分。
※坂出北ICは四国側からの下車不可。

東山魁夷「道」（リトグラフ）

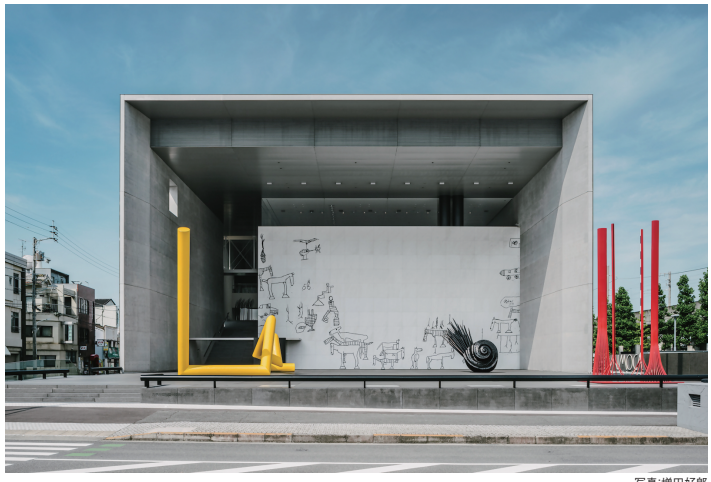
※展示作品は入れ替えがあります。

東山魁夷「花明り」（リトグラフ）

建築家 data 谷口 吉生 Yoshio Taniguchi 03 04

1960年慶應義塾大学工学部卒業、1964年ハーバード大学建築学科卒業、建築学修士。丹下健三・都市・建築設計研究所勤務を経て、谷口建築設計研究所設立。日本芸術院賞、村野藤吾賞、日本建築学会賞、高松宮殿下記念世界文化賞、ピラネージ・ローマ賞、公共建築賞など国内外で受賞多数。

Pick up Spot
東山魁夷せとうち美術館
カフェ な・ぎ・さ
TEL:0877-44-1333（美術館代表）
ガラス張りの窓から瀬戸内海のパノラマビューが眺められるカフェ。美術館限定のスイーツを食べながら、瀬戸内の島々や瀬戸大橋を鑑賞してみませんか。


写真：増田好郎

Pick up Spot
Café MIMOCA
TEL:0877-35-9613

写真：増田好郎

写真：増田好郎

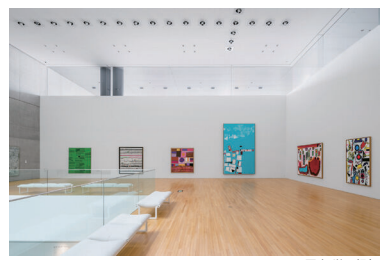
まちのシューレ963が運営する瀬戸内の食品や香川県出身の作家による雑貨等を販売するカフェ。ガラス張りの窓から滝とオブジェで演出されたカスケードプラザを眺めながら、食事を楽しむことができます。

04 駅前に整えられた
心地よいアートスポット

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

多感な少年時代を丸亀市で過ごした猪熊画伯の“暮らしの中で気軽にアートに触れられる施設にしたい”という思いを受け、谷口吉生が設計した駅前の美術館。猪熊作品の展示だけでなく、意欲的な現代アートの企画展やワークショップなども盛んに開催され、新鮮な刺激を受けられる場所になっています。

https://www.mimoca.org/ja/
香川県丸亀市浜町80-1 TEL:0877-24-7755
開館時間●10:00～18:00（最終入館17:30）
休 館 日●月曜日（祝日の場合は開館、直後の平日が休館）、年末12月25日から31日、臨時休館日
入 館 料●一般300円、大学生200円 ※企画展は別料金 高校生以下または18歳未満の方、丸亀市内在住の65歳以上の方、各種障害者手帳をお持ちの方と、その介護者1名は無料。（証明書などの提示が必要）
アクセス●JR丸亀駅下車徒歩約1分。坂出北ICから車で約15分。※坂出北ICは四国側からの下車不可。
坂出IC、善通寺ICからそれぞれ車で約15分。


写真：増田好郎

表書院

円山応挙「水呑の虎」(虎之間)

05 新旧の美が宿る歴史ある神苑

金刀比羅宮

「讃岐のこんぴらさん」として親しまれている金刀比羅宮は、御本宮や旭社などの壮麗な建物に加え、書院・高橋由一館・宝物館といった文化施設があり、美の宝庫でもあります。

書院

金刀比羅宮には、国の重要文化財である江戸時代に建てられた檜皮葺の表書院や奥書院があり、加えて明治時代建造の白書院があります。一般公開されている表書院には、内部の五間に円山応挙晩年の秀作が障壁画として描かれています。また、明治時代の歴史画家　邨田丹陵も二間の障壁画を担当しました。また、通常は非公開となっている奥書院には、伊藤若冲の「百花の図」や岸岱の障壁画が大切に保存されています。

高橋由一館

境内には日本近代洋画の先駆者、高橋由一の油絵27点を展示する「高橋由一館」があります。明治時代、金刀比羅宮に最初に奉献された「二見ヶ浦」や高橋の絵を購入した琴陵宥常宮司の肖像画、興味深い明治の風景画や質感表現の優れた静物画などを見ることができます。

高橋由一「鯛図」

宝物館

宝物館は、1905(明治38)年に文部省技師の久留正道の設計により我が国最初期の博物館として建てられました。和洋折衷の重厚な建物の中には重要文化財である平安時代の仏像「十一面観音立像」や「三十六歌仙額」など、見応えのある宝物が常設展示されています。

Pick up Spot

カフェ&レストラン「神椿(かみつばき)」

TEL:0877-73-0202

ヤブツバキをモチーフとした陶板壁画が迎える500段目の憩いの空間。
1階はカフェ、地下1階はレストラン。
カフェのオープンテラスでは、森の空気に包まれ小鳥のさえずりをBGMにスイーツやドリンクを楽しむこともできます。
また、自然に囲まれたレストランは県産食材をふんだんに使ったコース料理を堪能できます。

https://www.konpira.or.jp/

香川県仲多度郡琴平町892-1　TEL:0877-75-2121
開館時間●9:00～17:00(最終入館16:30)
休　館　日●無休
※社内都合・世情などにより予告なく休館することがあります。
入　館　料●3館(表書院・高橋由一館・宝物館)
共通拝観券：一般1,500円、高・大生800円
表書院、高橋由一館、宝物館の3館を拝観できる共通拝観券です。
3館を単館券で拝観するより料金がお得です。
単館券：(表書院・宝物館)一般800円、高・大生400円、
中学生以下無料
(高橋由一館)一般500円、高・大生300円、中学生以下無料
アクセス●善通寺ICから車で約15分。坂出ICから車で約30分。(表参道石段上り口まで)
町営駐車場やJR琴平駅から高橋由一館までは徒歩約40分。(車は町営駐車場を利用)

06 彫刻家の息遣いが聞こえる空間

イサム・ノグチ庭園美術館

20世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチは、庵治石の産地である高松市牟礼にアトリエを構え、ニューヨークと往来しながら制作に励みました。現在は美術館として公開され、未完成作品を含む彫刻作品、住居や展示蔵、彫刻としてつくられた庭園など生前の雰囲気そのままに鑑賞できます。

http://www.isamunoguchi.or.jp/

香川県高松市牟礼町牟礼3519　TEL:087-870-1500
開　館　日●火・木・土曜日
見学時間●1月～6月・9月～12月 午前10時・午後1時・午後3時の1日3回
7月・8月 午前10時・午前11時30分の1日2回(約1時間・定員有り)
入館方法●本WEBサイトの予約フォームにてご予約ください。
尚、団体様のご予約は、お電話でご相談ください。
休　館　日●月・水・金・日曜日、夏期8月13日～16日、
冬期12月28日～1月5日 ※年度により変更有り
入　館　料●一般・大学生3,300円(但し当日料金は、3,800円)
高校生以下無料　団体割引 30名様以上1割引
公開施設●アトリエ(石壁サークル内)・展示蔵・イサム家周辺・彫刻庭園
アクセス●岡山・愛媛方面より:高松中央ICから車で約20分。淡路・徳島方面より:志度ICまたは、さぬき三木ICから車で約20分。※さぬき三木ICは高松側からの下車不可。

写真提供:イサム・ノグチ庭園美術館

07 木とともに生きた家具デザイナーとの絆から生まれた場所

ジョージ ナカシマ記念館

写真:H.Amemiya

ジョージ・ナカシマが世界で唯一その技術を認め、ともに家具製作を行った桜製作所が設立した記念館。建築家時代に初めて手がけた貴重な椅子をはじめ、日米両国で作られた家具など、ドローイングや手紙とともに約60点を展示しており、木と対話しながら家具づくりを行ったナカシマの生き方や哲学に触れることができます。ナカシマデザインの椅子を体感できるカフェコーナーもあります。

https://www.sakurashop.co.jp/visit/george-nakashima-memorial-gallery
香川県高松市牟礼町大町1132-1　TEL:087-870-1020
開館時間●10:00～17:00（最終入館16:30）※ただしグループは要予約。
休 館 日●日曜日、祝日、夏期、年末年始
入 館 料●一般550円、小・中学生220円
アクセス●JR高松駅から車で約25分。志度ICから車で約10分。高松中央ICから車で約20分。高松空港から車で約40分。ことでん塩屋駅から徒歩約5分。ことでん八栗新道駅から徒歩約10分。JR讃岐牟礼駅から徒歩約10分

08 山の勾配を利用して建てられた美術館と階段状の庭園

四国村ギャラリー

四国村ミウゼアム（四国民家博物館）は、屋島山麓の広大なスペースに四国各地の古建築を移築復元している野外博物館。敷地内には安藤忠雄により設計された小さな美術館「四国村ギャラリー」があります。ヨーロッパの絵画や彫刻・仏像など、幅広い美術品の数々を展示しており、バルコニーからは、水景庭園とバラ園が望めます。

https://www.shikokumura.or.jp/
香川県高松市屋島中町91　TEL:087-843-3111
開館時間●9:30～17:00（入村受付、四国村ギャラリーは16:30まで）
休 館 日●火曜日定休（祝日の場合は営業、翌日休み）
入 館 料●大人1,600円、大学生1,000円、中・高生600円、小学生以下無料
アクセス●JR高松駅から車で約20分、高松中央ICから車で約15分
高松空港から車で約40分、ことでん志度線琴電屋島駅下車徒歩5分
JR高徳線屋島駅下車徒歩10分

Pick up Spot

水景庭園

TEL:087-843-3111

美術館のバルコニーを出ると立地を生かして造成された「水景庭園」があります。水音に耳を傾けながら、讃岐平野の眺望を楽しめます。

イサム・ノグチ パブリックアート

イサム・ノグチ作品
「TIME AND SPACE」高松空港

イサム・ノグチ遊具作品
「プレイスカルプチュア」牟礼源平広場（高松市）

イサム・ノグチ遊具作品
一の宮公園（観音寺市）

09 日本の伝統美が息づく
香川現代アートの原点

香川県庁舎東館（旧本館及び東館）

写真：小池大

写真：小池大

建築界のノーベル賞といわれるプリツカー賞を日本人で初めて受賞した丹下健三の代表作。日本の伝統とモダニズムを融合させた建築史上最も重要な作品のひとつといわれています。開放的なピロティやロビーは、戦後の庁舎建築の手本となりました。猪熊弦一郎の壁画や剣持勇の家具も必見です。

https://www.pref.kagawa.lg.jp/zaisankeiei/higashikan/
香川県高松市番町四丁目1番10号　TEL:087-831-1111
開庁時間●8:30～17:15
閉 庁 日●土・日曜日、祝日、年末年始
アクセス●JR高松駅から徒歩約20分。ことでん瓦町駅から徒歩約15分。高松中央ICから車で約20分。高松西ICから車で約20分。※高松西ICは高松側からの下車不可。

建築家 data　**丹下 健三** Kenzo Tange　09

建築家、都市計画家。国立代々木競技場、大阪万博マスタープランなど330を超える都市・建築を世界で設計。谷口吉生ら優れた人材を輩出し、日本の建築界に多大な影響を与えました。フランス建築アカデミー、イギリス王立建築家協会、アメリカ建築家協会の各ゴールドメダル、文化勲章（日本）など数々の名誉に輝いています。

10 瀬戸内海の自然と調和する石積みの建物

瀬戸内海歴史民俗資料館

備讃瀬戸を望む景勝地五色台に佇む資料館。石を積み重ねた外観の建築は山本忠司の設計で、1975年の日本建築学会賞受賞などを経て、2024年に国の重要文化財に指定されました。瀬戸内地域の暮らしや文化に関する資料を展示しています。

https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setorekishi/index.html
香川県高松市亀水町1412-2　TEL:087-881-4707
開館時間●9:00～17:00（最終入館16:30）
休 館 日●月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）、年末年始
観 覧 料●無料
アクセス●JR高松駅から車で約25分。高松檀紙ICから車で約30分。坂出北ICから車で約30分。※高松檀紙ICは坂出側からの下車不可。坂出北ICは四国側からの下車不可。

11 瀬戸内海の風景に溶け込む香川県の新たなシンボル

あなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）

プリツカー賞等を受賞した世界的な建築家ユニットSANAA（サナア）が設計を手掛けた多目的アリーナ。高さを低く抑え、1枚の大きな屋根で3つの施設を繋ぎ、瀬戸内の島々や讃岐の山々との連続性を感じさせる緩やかな曲線のデザインは、瀬戸内海の風景やサンポート高松の景観に調和しています。

https://kagawa-arena.com/
香川県高松市サンポート6-11　TEL:087-825-1313
利用時間●9:00～21:00
休 館 日●12月29日～1月3日
アクセス●JR高松駅から徒歩約4分。ことでん高松築港駅から徒歩約4分。フェリー乗り場から徒歩約2分。高速船乗り場から徒歩約5分。